

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(2/9)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
レアメタル等リサイクル資源特区 (秋田県)	正	4.8	5.0 進捗度 ・特区に搬入されたリサイクル対象となる家電等金属系使用済製品の回収量(秋田県内) 113% ・特区に搬入されたリサイクル対象となる金属系使用済製品(廃基板等の副産物を含む)の搬入量(国内、アジア地域) 125%	4.1 規制の特例等 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の送付期限緩和 財政支援等 ・廃太陽光発電パネルの広域収集網の構築に係るモデル事業 等 地域独自の取組 ・環境調和型産業集積支援事業 等	5.0	<p>・総合的な資源循環事業について官民連携での取り組みを積極的に進めており、着実に事業が展開している。</p> <p>・県内の全市町村がリサイクル制度へ参加しているなど、リサイクル意識が浸透している。国内外ではアジア地域からの搬入量増加が回収量増大に寄与するなど、当初の目標を上回る実績を挙げている。</p> <p>・特区による財政支援を活用した実証試験など、特区制度の活用と関係機関の協働による潜在的な金属資源のリサイクル推進に関する取り組みを着実に進めていることが評価される。</p> <p>・今後は県の製品回収量の増加だけでなく、回収量のシェアなど県が国・アジアのリサイクル産業の中心であることを確認できるような指標による評価も必要ではないかと思われる。</p>

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。